

桃山台・春日コース

竹林・田畑・水の音・・・

変わりゆくまちで、^{ふる}旧き面影を辿る

健脚コース
 一般コース
 楽々コース
 車椅子可
 介助付

<全長> 約 2.8 km

約 100分

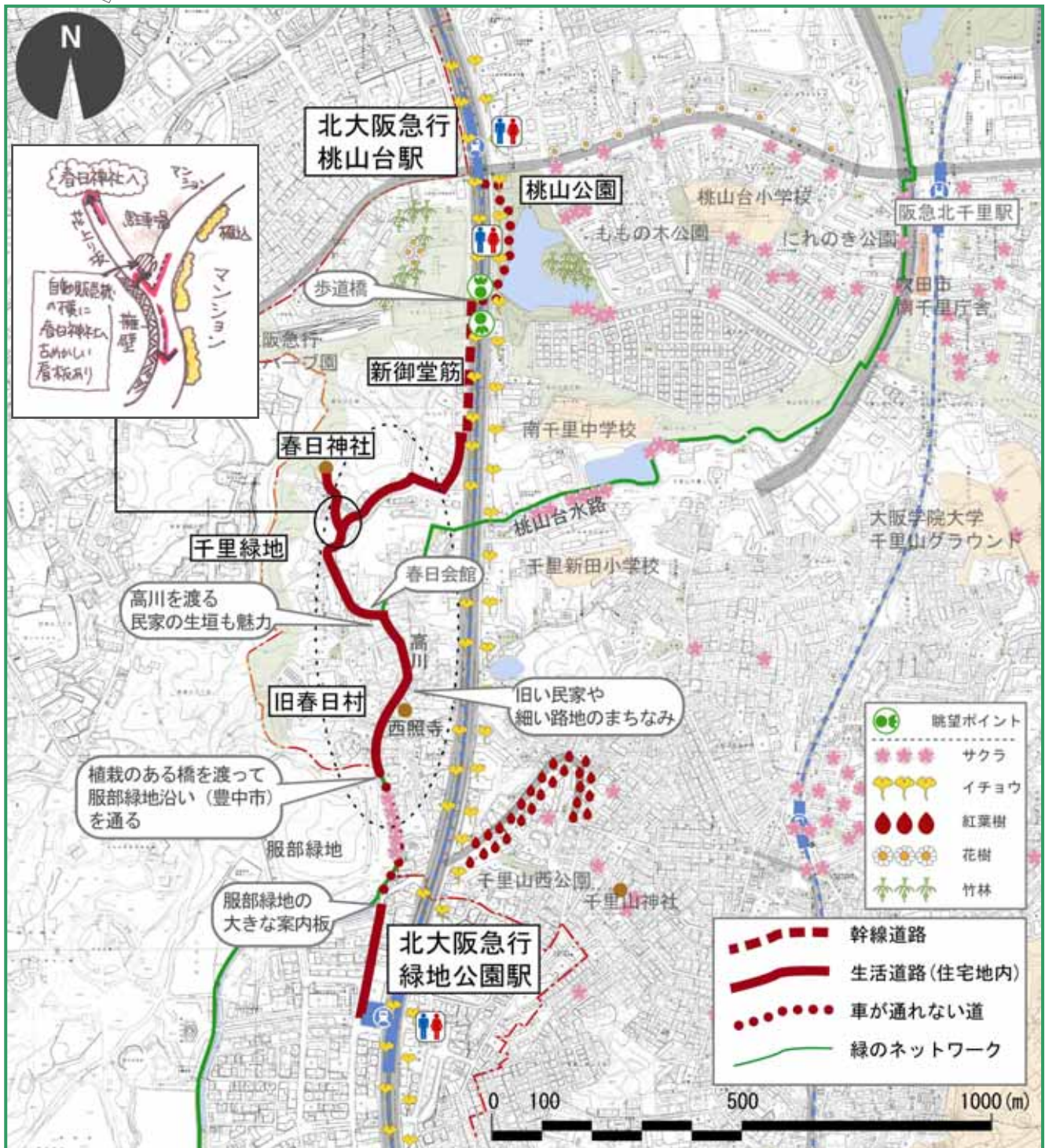
<高低差> 約 28 m

私の歩数: 歩

一言アドバイス

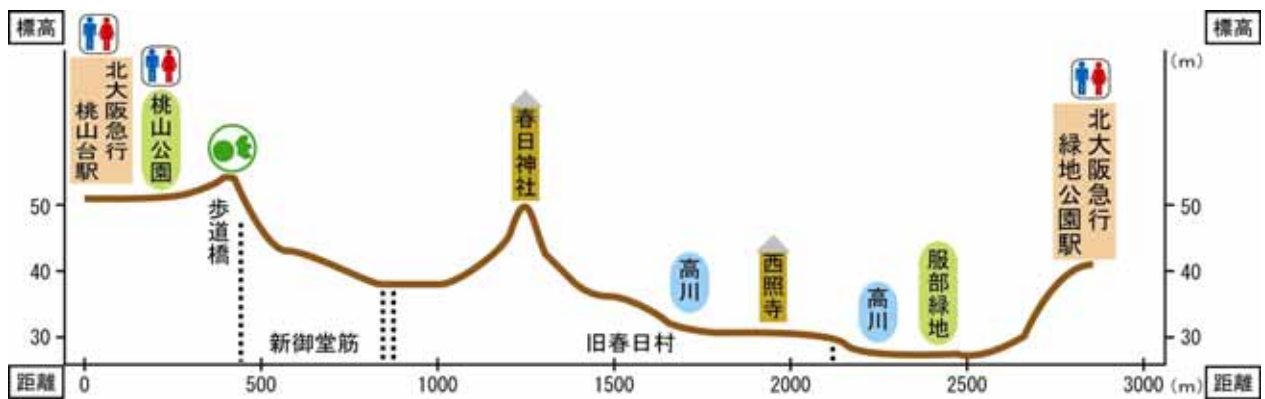
豊中市境界の緑地沿いの道。
 残念ながら神社以外は緑地内には入ることができません。

北大阪急行桃山台駅 桃山公園 新御堂筋
 春日神社 旧春日村 北大阪急行緑地公園駅



桃山台・春日コース

池と竹林・ヌマスギが特徴の桃山公園を抜け、
 新御堂筋にかかる陸橋を渡ると、旧春日村に入ります。
 春日には新田開発にともなう灌漑用ため池と棚田が残り、
 千里緑地の竹林の中には、果樹園の跡もあります。
 急速な開発により、かつての集落の佇まいは失われつつありますが、
 高川や社寺、細い集落の道に面影を感じることができます。
 変化するまちなみに思いをめぐらせながら、
 北大阪急行緑地公園駅までの道を辿ります。



主な経由地

北大阪急行 桃山台駅 ↔ 桃山公園 ↔ 新御堂筋 ↔ 千里緑地(春日)

北大阪急行 緑地公園駅 ↔ 旧春日村 ↔ 春日神社

◆ コースの見どころ紹介 ◆

桃山公園



北大阪急行桃山台駅のすぐ南側に位置する大きな公園です。小さな花壇やたくさんの樹木、大阪みどりの百選に選ばれた竹林が、噴水のあ
る春日大池を囲むように広がっています。花壇は「フラワーメイト」、
竹林は「千里竹の会」のボランティアの皆さんが世話をしています。

ラクウショウの木（別名：ヌマスギ）が沢山あり、一見良く似たメタ
セコイアも数本あります。いずれも背の高い落葉の針葉樹で、原産地
では30m以上に達します。メタセコイアは生ける化石といわれ、1945年



に中国の湖北省と四川省の境の奥地で発見され、
1949年にわが国に持ち込まれました。ラクウシ
ョウの根は特徴的で、膝と呼ばれる気根が、地
面のあちこちから突き出しています。この木の違
いをじっくり探してみましょ。ケヤキ、モミジ
等の樹木調べも楽しいです。

* 桃山・佐井寺南・千里南・藤白・山田川の5箇所
の公園には「健康歩道」があります。
足の裏のつばを刺激して、健康になりましょ！



旧春日村

かつて下新田村と呼ばれ、江戸初期に山田村や佐井寺村の人たち
による、新田開発によって寛永3（1626）年に成立した村です。
山林を切り開いての開発のため、水の確保に苦労したようで、灌漑
はため池に頼っていました。現在の春日大池（桃山台2）は寛保
（1743）年には存在していたようです。豊中市境界を成す千里緑
地の雑木林・竹林内には入れませんが、集落内には、生垣や庭木を
配した古い造りの家が今なお点々と残されています。緑地とその周
囲の田畑や果樹園などに、この地の原風景を見ることができます。



○春日神社

千里緑地内にあり、古い記録には1648年創建と
ある神社で、こけら葺の社殿もあります。境内の
鳥居、灯籠、手水鉢などには江戸時代の年号が刻
まれています。見事な神社林に覆われた境内
は、周囲より少しひんやりとしています。1953年、
吹田市との合併にあたりこの神社の名にちなん
で地域の名を春日としました。



○西照寺



新御堂筋



いちよう並木が特徴。
秋は美しい黄葉が
魅力です。



その1

南千里交差点から府道
吹田・箕面線沿いに南下する川
で、桃山台4丁目から新御堂筋
の下をくぐり、南に向きを変え
て春日村、さらに服部緑地の東
側を通過し神崎川に注いでいま
す。農業用水路として活躍して
きたと同時に、他村へは、山越
えの道か、この高川沿いの道が
利用されていましたが、人がや
っと通れる程度の細い道であっ
たようです。